



かさおか輝き新聞

～坂本りょうへい市政報告～

発行：令和4年1月
発行責任者：坂本りょうへい
岡山県笠岡市大宜605
電話：0865-66-1818

皆様にはますます健勝のこととお慶び申し上げます。
新たな年となり、新たな一步に身が引き締まる思いです。
昨年12月定例議会では様々な議案処理や事案がありました、
考えさせられる事案も多く、慎重な対応が必要であると改めて
実感しています。12月定例議会が終了しましたので、ここに
市政報告をさせていただきます。

12月定例議会（会期 12/1 - 12/24）

12月定例議会が開催され、臨時特別給付金など一般会計補正予算や9月議会で審査未了の令和2年度の決算報告が審査されました。また、市長・副市長への辞職勧告決議や百条委員会設置が可決されています。

◆◆一般会計補正予算を審議しました◆◆

承認された議案（一部抜粋）

・市民活動支援センターアドバイザー事業／284万円
令和4年度からの運営方法変更に伴い、新アドバイザー契約の費用。

・市制施行70周年記念事業／555万円

・救急艇整備事業／2億5,985万円（債務負担行為と消防施設費合算）

島しょ部の救急体制の充実を図るために
救急艇を建造する。



坂本の目 救急艇の建造が進むことになり、船長含む人員体制の構築と島しょ部からの利便性を考慮した近隣市町との救急連携をぜひとも進めてほしい。

・離島地域協働型保育支援事業／160万円

地元住民が開設運営を予定している託児所に使用する旧白石幼稚園の施設改修事業

坂本の目 島で働く方のお子様に対して休園中の幼稚園施設を改修して託児所として活用するとの事案、笠岡市は就学前教育・施設再編整備計画で休園する幼稚園に対し多くの保護者が涙し要望をあげてきた中、この事業は複雑な思いがしています。

・子育て世帯への臨時特別給付事業

高校生までの子どもに対して1人あたり10万円の現金給付を行う事業。（担当：市民課）

・住民税非課税世帯への臨時特別給付金給付事業

住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対して1世帯当たり10万円の現金給付を行う事業。（担当：生活福祉課）

日々の活動報告を配信中



【今回削除した案件は以下の通りです】

①農道離着陸場整備事業／749万円

空港活用に対する大型寄付を利用し老朽化する管理棟等修繕にかかる費用。

*今後の活用を考える有識者による審議会などを立ち上げるなど明確な構想をもって外部の意見を収集するべきとしています。

②本庁周辺駐車場改修事業／291万円

本庁舎周辺駐車場の一部をおもいやり駐車場区画に改修するのに合わせ安全で駐車しやすくするために入口拡張工事を実施する。

*しっかり精査し本予算で計上を依頼しました。

③小飛島待合所整備事業／53万円

小飛島待合所の既存施設を撤去し、新たな待合所の据え付けを行う。

*設置にあたり地権者や地元住民との意思形成ができないまま事業を進めてはならないとしています。

笠岡市議会で初めての百条委員会設置

笠岡湾干拓地内にある農業振興施設の関連議案について、運営事業者募集要項に不備があることを公表せず、3月及び6月議会では新型コロナウイルス対策の衛生面改善として計上し、9月議会で初めて公表する結果となった案件。これまで調査特別委員会を設置し調査を行い、同時に監査請求をおこない監査による調査が行われています。

特別委員会では監査報告も確認したうえで今後の健全な市政運営を図るためにも議会の最終手段で調査権を有する百条委員会を設置し事業に関わるの一連の流れを調査していくことを決定しました。

百条委員会：地方自治法100条に基づき地方議会によって設けられる調査委員会。調査方法は選挙人、その他関係人に対する出頭・証言・記録提出であり、正当な理由なくこれを拒否したり偽証した場合は議会の告発により罰せられます。

kasaoka.mirai@gmail.com

皆様の声、地域の声を教えてください。
皆様の声を活動の指針として参ります。

市長・副市長に対して辞職勧告決議を可決

笠岡湾干拓地内にある農業振興施設における予算編成作業から予算要求までの一連の意思形成過程について、議会への予算説明の段階で不適切な事務処理の事実が意図的に伏せられていたのではないかとの疑惑により笠岡市監査委員に対して監査請求を行いました。この監査報告では議会が抱く懸念を裏付ける内容であったとの報告を公表する結果となり、報告書では市長及び副市長は「いたずらに不都合な事実を塗りつぶして事実を覆い隠すのではなく、失敗は失敗として明らかにして、新たな展開を図るという姿勢が必要である」とも言及されています。そして、この監査報告が公表されて一ヶ月以上が経過しているにも関わらず謝罪や改善策などが示されていない状況にトップとしての資質を問う事態となっています。

また、市長就任後からおきている事案やフェイスブックへの投稿など、ルール遵守、人権への配慮の観点から議会からも度々注意や改善要望を出すも一貫して改善をされず今日まで至っています。そして、その状況について調整役である副市長においてもその機能が果たせない状況を鑑み、両名に対して辞職勧告決議が提案され賛成多数で可決しています。百条委員会設置と同様に笠岡市において初めてであり議員間でも様々な意見がありますが、議会と執行部は二元代表制であり様々な意見を交わしながら案件を決定していくためにも一つの楔として今回の形となっています。

坂本の目 市長のこれまでの対応や言動について議会として市政トップの資質に欠けると判断したものとなりました。不信任決議ではないですが、この判断が一つのきっかけとなり、これから市政運営についてどういった影響がでるのか、百条委員会設置により新たな展開となるのか慎重な対応が問われてきます。

また、議会側もこの百条委員会設置と辞職勧告決議を可決した責任において説明責任をしっかりと行い、

市民のための政治を基本とし、市政停滞は絶対にしてはなりません。そのためにも、議員は共通認識のもと単なる市長と議会との争いにならないようにしていく必要があると強く感じています。

辞職勧告決議：不祥事などで公職の身分にふさわしくないとされる人物に対して行われる議会の意思表示。あくまで当該人物による自発的な辞職を促すもので、首長に対する不信任決議とは異なり法的拘束力はないため、勧告に従わなくても法律上問題はないとされています。

令和2年度歳入歳出の決算認定

令和2年度の決算認定を行いました。

令和2年度の一般会計は新型コロナウイルス感染症関連の国庫補助金の関係もあり、歳入295億8,468万円、歳出289億9,980万円と前年対比で歳入21.4%増、歳出21.8%増の過去最大規模となっています。

この結果、形式的な収支は5億8,488万円の黒字となります。財政調整基金などの取り崩し金を含めない実質単年収支は4億3,153万円の赤字という結果となっています。令和3年度は出生者も初の200名を切る状況にあり、2020年度の国勢調査では人口減は4,480人で岡山県内でもワーストランクとなっています。人口減少は税収の減少であり財源確保が喫緊の課題となってきます。コストの見直しだけなく、施策として人流確保や関係人口の創出など多角的に考えていかなければならないと思います。



小中一貫教育・一体型学校について

12月定例議会の常任委員会や一般質問において金浦中学校区における一体型校建設について、教育委員会より一小学校が賛成しないならそこだけ分離型であることもやむを得ないという見解が述べされました。

坂本の目 例えばという位置づけではありますが、説明会を行い意見集約をしていく段階であり、この一体型は城見・金浦・陶山が一緒になって初めて完遂するものです。一貫教育がやりたいのか？一体型学校が建てたいのか？今しなければならない事や地域から学校がなくなるリスクや100点は無いにしても地域住民の声をしっかりと聞くようにと伝えています。



地域の声 改善報告

市道の修繕：令和4年度工事着工

河川の浚渫：現地確認が終了し年度内対応

急傾斜地の落石・倒木対応：令和4年度工事着工

施設の建物修繕：業者への依頼完了

中央分離帯改善：道路状況を検討し現在調整中

その他、多くの声を頂き、地域の皆様方のご理解のもと一緒に取り組んでいます。

議員報酬について（3月定例議会の議案となります）

今回、報酬について請願書と署名が提出されました。真摯に受け止め対応してまいります。